

糖尿病センター(糖尿病内科)



診療科長
河野 茂夫

専門医資格等 日本糖尿病学会 糖尿病専門医・研修指導医
日本内分泌学会 内分泌代謝科専門医・指導医
日本内科学会 認定内科医・総合内科専門医・指導医
日本糖尿病学会 評議員
京都大学医学博士
京都大学臨床教授

専門分野 糖尿病
得意疾患 足病変

□ スタッフ

令和元年10月1日時点

	氏名	専門医資格等	専門分野	得意疾患
医師	村田 敬	日本内科学会 認定内科医・総合内科専門医・指導医 日本糖尿病学会 糖尿病専門医・研修指導医 東京大学医学博士	糖尿病	若年者糖尿病
医師	小鳥 真司	日本糖尿病学会 糖尿病専門医 日本内分泌学会 内分泌代謝科専門医・指導医 日本内科学会 認定内科医・総合内科専門医・指導医 日本肥満学会 肥満症専門医・指導医 日本病態栄養学会 病態栄養専門医・指導医 日本抗加齢医学会 専門医 京都大学医学博士	糖尿病	糖尿病
医師	渡邊 知一	日本糖尿病学会 糖尿病専門医 日本内科学会 認定内科医・総合内科専門医	糖尿病	糖尿病
医師	野村 英生	日本内科学会 認定内科医・総合内科専門医 日本糖尿病学会 糖尿病専門医 日本内分泌学会 内分泌代謝科専門医	糖尿病	糖尿病
レジデント	木村 早未	日本内科学会 認定内科医 日本糖尿病学会 糖尿病専門医	糖尿病	糖尿病
内分泌代謝 高血圧 研究部長	浅原 哲子	日本内科学会 認定内科医・指導医・総合内科専門医 日本糖尿病学会 糖尿病専門医・研修指導医 日本内分泌学会 内分泌代謝科専門医・指導医・評議員 日本神経内分泌学会 評議員 日本心血管内分泌代謝学会 評議員 日本肥満学会 肥満症専門医・指導医・評議員 日本肥満症治療学会 評議員 日本動脈硬化学会 認定動脈硬化専門医・評議員 日本病態栄養学会 評議員 日本抗加齢医学会 専門医 日本人類遺伝学会 臨床遺伝専門医 日本糖尿病学会近畿支部 評議員 日本糖尿病生活習慣病ヒューマンデータ学会 評議員 京都大学医学博士 京都大学非常勤講師 帝京大学医学部 臨床研究医学講座特任教授 滋賀医科大学 社会医学講座 公衆衛生学部門 客員教授 同志社大学 スポーツ健康科学部 客員教授 国立循環器病研究センター 客員研究員	糖尿病、肥満症(メタボリックシンドローム)疾患、内分泌代謝内科、予防医学、遺伝診療	糖尿病、肥満症(メタボリックシンドローム)疾患、内分泌代謝内科、予防医学、遺伝性疾患全般
予防医学 研究室長	坂根 直樹	日本内科学会 認定医 日本肥満学会 評議員 京都府立医科大学医学博士	糖尿病	糖尿病

臨床内分泌代謝(専任)研究室長	日下部 徹	日本内科学会 認定内科医・総合内科専門医 日本内分泌学会 内分泌代謝科専門医・指導医・評議員 日本糖尿病学会 糖尿病専門医・研修指導医 日本肥満学会 肥満症専門医・指導医・評議員 日本肥満症治療学会 評議員 京都大学医学博士 京都大学客員研究員	糖尿病、肥満症(メタボリックシンドローム)、内分泌	糖尿病、肥満症(メタボリックシンドローム)、内分泌、サルコペニア
-----------------	-------	--	---------------------------	----------------------------------

□ 診療科の特徴

施設認定等	日本糖尿病学会認定教育施設 日本肥満学会認定専門病院
-------	-------------------------------

1. 生活習慣病である糖尿病の治療には、患者さんご自身が自己管理能力を身につけることが大切です。当科では糖尿病教育、すなわち患者さんへの教育を実施すると同時に、患者さんに対する指導能力を高めた教育スタッフを育成し、より一層の治療実績アップに努めます
2. 地域の糖尿病基幹病院としての責務を果たすべく、地域連携に努めます

□ 主な対象疾患

2型糖尿病、耐糖能異常、1型糖尿病、肥満症、メタボリック症候群、糖尿病神経障害と糖尿病足病変、糖尿病腎症、糖尿病網膜症(眼科)、妊婦糖尿病、脂質異常症(高脂血症)、糖尿病性昏睡、重症低血糖

□ 診療(業務)内容

糖尿病センターでは一般糖尿病外来および入院での診療に加えてさまざまな専門外来を開設し、さまざまなタイプの糖尿病および関連疾患およびそれらの合併症の充実した診療活動につながっている。

下記に専門外来の診療活動について紹介する。

- ・フットケア外来 毎週月曜日14時～/フットセンター外来 毎週火曜日14時～(2000年開設)フットケア外来では、主に糖尿病に由来する足病変に対応し、全国各地からの紹介患者を集めている。また、非糖尿病足病変患者に対する問い合わせも多く、難治性の足病変を扱う集学的な欧米型のフットセンターを目指している。フットセンター外来では初診は糖尿病センターで行い、一般診察をした上で、関係担当診療科へ紹介している。
- ・フットウェア外来(月2回:木曜日13時～16時 完全予約制)フットウェア外来では義肢装具士がオーストリア人の整形外科靴マイスター(Orthopedic Shoe Meister)と協力して、靴・装具の指導や調整にあたっている。
- ・1型糖尿病外来(2005年開設) 毎週火曜日午前・午後、金曜日の午前。/インスリンポンプ(CSII)外来(2010年開設) 毎週月曜日の午後。

医師、看護師、管理栄養士がチームを組み、1型糖尿病の系統的な自己管理教育と心理・社会的な問題への対応を含めた患者支援を行っている。食事の炭水化物量に合わせてインスリンの単位数を自己調節するカーボカウントや、インスリンポンプ・持続血糖測定器(CGM)などの先進糖尿病デバイスの活用により、合併症予防と生活の質(QOL)の両立を目指している。小児期発症患者の成人移行、1型糖尿病合併妊娠の内科的管理、1型糖尿病患者を対象とした臨床研究も実施している。糖尿病センターに登録されている1型糖尿病患者は約300名。インスリンポンプ療法(CSII)を行っている者は77名(新規導入3名)。このうち、SAP(リアルタイムCGM機能搭載インスリンポンプ)を用いている者は37名(48%)。単体型リアルタイムCGMを用いている者は4名、間歇スキャンCGMを用いている者は33名。2019年度の1型糖尿病外来の初診患者は17名である。

- ・肥満・メタボリックシンドローム外来(2001年開設) 毎週 月曜日・水曜日9時～14時
肥満・メタボリックシンドローム外来では、医師・看護師・栄養士によるチーム医療をベースに、体重グラフや食事記録表を登載した当院独自の「ダイエットノート」を活用し、日本肥満学会が提唱する減量指導を行い、動脈硬化等の合併症も定期的に評価している。
また、外来患者を中心に2006年よりメタボ会(患者会)を定期的開催。さらにメタボ通信、スマートランチ等をチーム医療で展開し、外来開設から現在まで延べ18,000人以上の患者治療を行ってきた。

- ・脂質異常症外来(2005年開設):第2、4木曜日。家族性高コレステロール血症(FH、2020年3月で124名を登録)やWHO分類のV型など1,000mg/dL以上の著明な高中性脂肪血症(同、22名を登録)の鑑別診断と治療方針の決定を行っている。スタチンのみで管理不良のFHヘテロ接合体に対するPCSK9阻害薬の使用も開始。また、スタチン投与時のCPK上昇例の対応やスタチン関連自己免疫性ミオパチーなど副作用症例の対応も行っている。管理栄養士による高脂血症療養指導外来(2006年開設)も併設し、節酒による中性脂肪改善プログラム(HAPPY)も提供している。
- ・妊娠糖尿病外来(2007年3月開設)毎週金曜日13時～15時 妊娠糖尿病は妊娠中に初めて発見された軽度の(糖尿病には至っていないレベルの)耐糖能異常で巨大児その他の周産期合併症の原因となる。また出産後の糖尿病発症リスクが増大する。妊娠前に糖尿病を発症した場合、糖尿病合併妊娠となり、胎児奇形が大きな問題となり、妊娠前血糖管理が重要となる。2019年度当外来を受診した新規患者数は51名であった。
- ・糖尿病血管合併症外来/毎週金曜日13時～16時 糖尿病血管合併症外来では、糖尿病血管合併症のスクリーニングを行い、他科との緊密な連携によって治療にあたっている。特に、閉塞性動脈硬化症などの合併症に加え腎機能障害を有する糖尿病患者の短期入院で、外来での施行が困難な造影剤による画像検査を施行し、定期的なスクリーニング・治療への展開も検討している。
- ・糖尿病透析予防指導外来 (2012年10月開設) 糖尿病腎症2期以上の患者を対象とし、医師、看護師、管理栄養士が連携して自己管理指導を行う。毎週月、水、木曜日に1名ずつの予約枠となっていて、現在3回シリーズとして指導を実施している。
さらに、糖尿病センターではコメディカルスタッフによる指導として一般糖尿病食事指導(管理栄養士)および糖尿病療養指導外来(インスリン自己注射、血糖自己測定、フットケア指導など:看護師)を開設している。また、自己管理(療養)を患者に指導する医療スタッフである糖尿病療養指導士(CDEJ)は、当院内で看護部、薬剤部、栄養科、検査科などに多数を擁し、綿密な糖尿病セルフケアを支援している。

□ 診療実績(令和元年度)

入院患者数

1日平均患者数	新入院患者数	平均在院日数
11.2名	246名	16.1日

外来患者数

1日平均患者数
80.2名

主な手術・検査の件数など

CGM(連続皮下ブドウ糖測定)	CAVI/ABI測定	CT(内臓脂肪面積測定)
13件	220件	70件

□ 地域医療連携・広報活動

- ・糖尿病市民公開講座「第34回DM京都」地域で生きる糖尿病医療連携
- ・令和元年度近畿地域診療放射線技師学術大会 府民公開講座 令和2年2月9日
講演「広げよう!メタボ撲滅の輪～健康長寿を目指した食事・運動療法～」
内分泌代謝高血圧研究部長:浅原哲子
- ・2019年度名古屋大学 環境医学研究所 市民公開講座 令和元年10月19日
講演「広げよう!メタボ撲滅の輪～健康長寿を目指して～」
内分泌代謝高血圧研究部長:浅原哲子
- ・第51回日本動脈硬化学会総会・学術集会市民公開講座 令和元年7月12日
講演「肥満・糖尿病における効果的な動脈硬化予防」
内分泌代謝高血圧研究部長:浅原哲子

2019年度の内分泌・代謝性疾患研究会「楽しくてためになる糖尿病教育の実践とやりがいをもてる糖尿病スタッフの育成」、2019年11月18日～20日、東北から九州まで42施設、メディカルスタッフ56名が参加。

□ 学術活動報告(学会・研究発表など)

分類	演者(当院)	タイトル	学会名	開催地	発表年月日	会期
国際学会	Murata T, Sakane N, SatoH-Asahara N,	Effect of intermittent-scanning cgm to glycemic control including hypoglycemia and quality of life of patient with type 1 diabetes mellitus (ischia study): study design.	Advanced Technologies & Treatments for Diabetes.	Madrid, Spain		2020.2.19～ 2020.2.20
国内学会	野村 英生, 日下部 徹, 小鳥 真司, 浅原 哲子	四肢優位の特異的な脂肪沈着を契機に紹介され、脂肪性浮腫と診断した肥満症の一例	第92回日本内分泌学会学術総会	宮城	2019.5.9	2019.5.9～ 2019.5.11
国内学会	清水 美佳, 日下部 徹, 横田 繁史, 井上 隆之, 田中 将志, 北野 隆司, 野村 英生, 村中 和哉, 山陰 一, 島津 章, 浅原 哲子	肥満糖尿病モデルマウスに対する低炭水化物食とSGLT2阻害薬の糖・脂質代謝に及ぼす影響の検討	第92回日本内分泌学会学術総会	仙台	2019.5.10	2019.5.9～ 2019.5.11
国際学会	村田 敬, 坂根 直樹, 菅沼 彰子, 浅原 哲子	EFFECT OF INTERMITTENT-SCANNING CGM TO GLYCEMIC CONTROL INCLUDING HYPOGLYCEMIA AND QUALITY OF LIFE OF PATIENTS WITH TYPE 1 DIABETES MELLITUS (ISCHIA STUDY): STUDY DESIGN	13th International Conference on Advanced Technologies & Treatments for Diabetes	Madrid, Spain	2020.2.20- 2020.2.22	2020.2.19- 2020.2.22
国内学会	村田 敬, 坂根 直樹	リアルタイム持続血糖測定器(CGM)センサーのアドヒアランスとインスリンポンプ療法におけるQOLの関連(PARCS研究第2報)	第19回日本先進糖尿病治療研究会	東京	2019.11.2	2019.11.2
国内学会	村田 敬, 渡邊 知一, 野村 英生, 木村 早未, 小鳥 真司, 坂根 直樹, 河野 茂夫	小児・思春期に発症した1型糖尿病患者における糖尿病ケトアシドーシスに関する疫学調査のパイロットスタディ	第25回日本小児・思春期糖尿病学会	東京	2019.7.15	2019.7.15
国内学会	渡邊 知一, 村田 敬, 菅沼 彰子, 坂根 直樹	新規インスリンポンプ使用中患者用QOL尺度(CSII-QOL)の開発および妥当性と信頼性の検証	第62回日本糖尿病学会年次学術集会	仙台	2019.5.24	2019.5.23- 2019.5.25

研究セミナー・シンポジウム等	村田 敬	1型糖尿病診療 Up to date 2020	令和元年内分泌 代謝性疾患専門 研修会	京都	2020.2.6	2020.2.6
研究セミナー・シンポジウム等	村田 敬	最新糖尿病治療とQOL	第9回CGMから 見えてきた今後の 糖尿病治療を 考えるスモール ミーティング	横浜	2020.1.10	2020.1.10
研究セミナー・シンポジウム等	村田 敬	高濃度グルルギン製剤が2 型糖尿病患者の生活の質に 与える影響～HIGH-QOL試 験が示唆すること～	Diabetes Expert Seminar	大阪	2019.12.8	2019.12.8
研究セミナー・シンポジウム等	村田 敬	京都医療センター 1型糖尿 病外来におけるチーム医療 ～インスリンポンプ、CGM、 カーボカウントの3C～	第5回MODSカ ンファレンス	大阪	2019.12.14	2019.12.14
研究セミナー・シンポジウム等	村田 敬	すぐわかる! CGMの読み方、 活かし方	第20回美作地区 糖尿病療養指導 研究会	津山	2019.11.30	2019.11.30
研究セミナー・シンポジウム等	村田 敬	糖尿病患者の栄養管理と血 糖コントロール	NST勉強会	京都	2019.9.9	2019.9.9
研究セミナー・シンポジウム等	村田 敬	糖尿病3C 成人移行のプロ セスと課題	第15回淀川リ バーサイズカン ファレンス	大阪	2019.7.21	2019.7.21
研究セミナー・シンポジウム等	村田 敬	高濃度グルルギン製剤が2 型糖尿病患者の生活の質に 与える影響～HIGH-QOL試 験が示唆すること～	Diabetes Forum in Kyoto	京都	2019.8.24	2019.8.24
研究セミナー・シンポジウム等	村田 敬	インスリンポンプ・CGM指導 のコツ	第20回京都小児 糖尿病内分泌懇 談会	京都	2019.7.5	2019.7.5
研究セミナー・シンポジウム等	河野 茂夫	糖尿病フットケアのアップ デート	京都Diabetes Seminar	京都	2019.6.27	2020.6.27
国内学会	河野 茂夫	特別講演:国際医療協力を 通しての糖尿病足とのグ ローバルなたたかい	第115回臨床外 科学会北海道支 部総会	旭川市	2019.6.29	2020.6.29
研究セミナー・シンポジウム等	河野 茂夫	糖尿病フットケアのアップ デート	徳島糖尿病足病 変セミナー	徳島市	2019.7.18	2019.7.18
研究セミナー・シンポジウム等	河野 茂夫	糖尿病フットケアのアップ デート	糖尿病フットケ ア研究会	名古屋市	2019.8.3	2019.8.3
国際学会	Shigeo Kono	ベトナム国勲章"the memorabilia For Vietnamese People's Health"受賞講演 "Management of Diabetic Foot Problems in Western Pacific Region	50th Anniversary meeting of National Hospital of Endocrinology, Vietnam	Hanoi, Vietnam	2019.9.10	2019.9.10
国内学会	河野 茂夫	シンポジウム:糖尿病足病 変診療のUpdate2019	日本糖尿病合併 症学会	大阪	2019.9.27	2020.9.27- 9.28
国内学会	河野茂夫	教育講演:糖尿病足病変の Update	日本糖尿病学会 近畿地方会	大阪	2019.11.9	2019.11.9
国内学会	河野 茂夫	シンポジウム:糖尿病足病変	日本靴医学会	東京	2019.11.9	2019.11.9
国際学会	Shigeo Kono	Invited Lecture: Management of Diabetic Foot	1st Jakarta Diabetic Foot Meeting	Jakarta, Indonesia	2019.11.15	2019.11.15

※浅原先生 坂根先生 日下部先生の分は別掲

□ 投稿論文など

分類	著者(当院)	タイトル	著書・雑誌名	vol.	No.	page	編集者等	出版社	発行年月
英文論文	村田 敬, 渡邊 知一, 菅沼 彰子, 坂根 直樹	The Effect of High- concentration Insulin Glargine on the Quality of Life of Patients with Type 2 Diabetes Mellitus: A Pre-post Study (HIGH-QOL STUDY).	Intern Med.	58	20	2943- 2948			2019

英文論文	村田 敬	Caution is required for the evaluation of the accuracy of continuous glucose monitoring devices.	J Diabetes Investig.	11	1	255			2020
和文原著論文	村田 敬	工場較正の不調が疑われた間歇スキャンCGMセンサーの事例 間歇スキャンCGMセンサー工場較正不調 疑い事例	日本先進糖尿病治療研究会雑誌	15		1-6			2019
和文総説・著書	村田 敬	インスリンポンプでのCGM(SAP)・FGMの有効活用	糖尿病治療からDMS(データマネジメントシステム)指導までいま読んでおきたい血糖データの活かし方			55-60	小出 景子, 渥美 義仁	南山堂	2020
和文総説・著書	村田 敬	インスリンポンプ療法の指導におけるチーム作り	インスリンポンプ療法マニュアル(改訂第3版):CSII療法・CGM・SAP療法導入・管理の手引き			251-256	小林 哲郎, 難波 光義	南江堂	2020
和文総説・著書	村田 敬	【一人でも慌てない!「こんなときどうする?」の処方箋85】 どうする? 内分泌インスリン注射あれこれ	Medicina	56	4	133-137		医学書院	2019
和文総説・著書	渡邊 知一, 村田 敬	【糖尿病診療の"Q"-現場の疑問に答えます】 糖尿病患者のマネジメント シックデイ対策 食事が摂れないとき、 投薬はどうしたらよいのだろうか?	Medicina	56	6	868-872		医学書院	2019
英文論文	坂根 直樹, 村田 敬, 二連木 晋輔, 菅沼 彰子	Development and Validation of the Continuous Subcutaneous Insulin Infusion-related Quality of Life (CSII-QOL) Scale.	Diabetes Technol Ther	22	3	216-221		Mary Ann Liebert, Inc.	2020.5
英文論文	河野 茂夫	Guidelines on the diagnosis and treatment of foot infection in persons with diabetes (IWGDF 2019 update).	Diabetes Metab Res Rev.			suppl 1			2020. March
英文論文	河野 茂夫	Interventions in the management of infection in the foot in diabetes: a systematic review.	Diabetes Metab Res Rev.			suppl 1			2020. March
和文総説・著書	河野 茂夫	糖尿病足病変	日本糖尿病学会糖尿病診療ガイドライン2019			183-199	日本糖尿病学会	南江堂	2019

※浅原先生 坂根先生 日下部先生の方は別掲